

特記仕様書

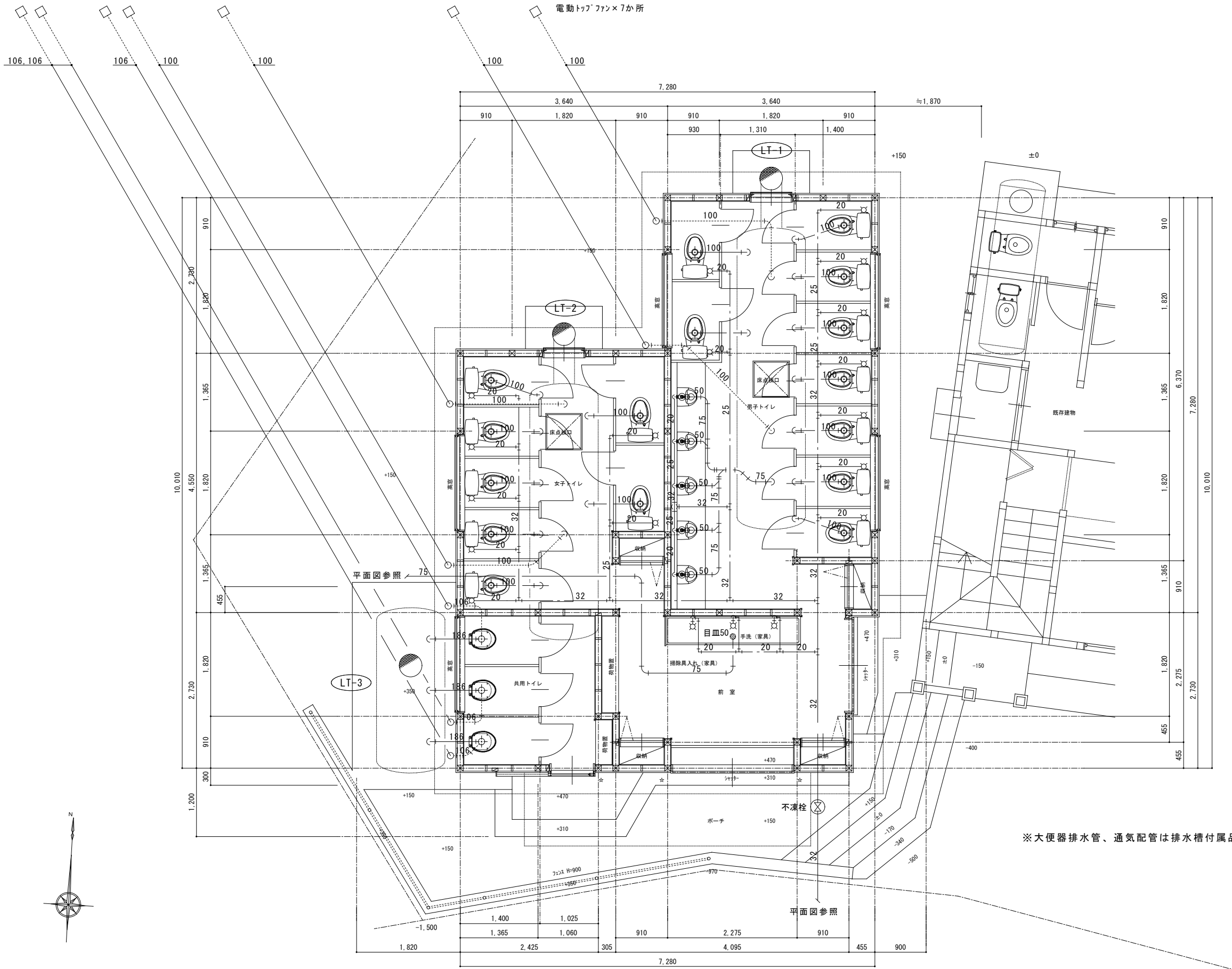
工 事 名 称	長衛小屋トイレ改修工事	特 記 事 項	1. 主要な弁類には、使用用途を記したブラスチックの用途札を取付けること。弁類の前後等適当な箇所フランジ継手又は
工 事 場 所	山梨県南アルプス市芦安芦倉字野呂川入西方1685の一部		ユニオンを挿入し、取外しを容易にすること。 また、水栓接続は座付継手とする。
工 事 範 囲	設計図書・工事契約書に依る。		2. 給水等に使用する器具・バルブ類は鉛レス対策品とし、鋼管への接続はコア付とすること。
建 物 概 要	木造 延面積 61.69㎡		3. 給水管の屋外埋設深さはGL－600とする。
			4. 屋外埋設管には、埋設表示標を係員の指示により取付けること。
一 般 事 項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び標準仕様書（国土交通大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）		5. 配管に使用するボルトナット及びフランジアングル類は亜鉛メッキ以上の物を使用すること。
	・同標準図最新版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。		但し、屋外及び屋内埋設に使用する支持金物類はステンレス製を使用すること。
	2. 本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、		6. 土間下埋設配管は沈下防止の為、それぞれの管種に応じた天井配管と同ピッチで土間配筋より吊ること。
	係員と協議の上誠実に施工するものとする。 但し、その費用は請負者の負担とする。		7. 排水勾配は屋内1／50、屋外1／50～1／100を標準とする。
	3. 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち工程表、施工計画書、材料承諾願図、		8. 衛生器具廻りの排水管は、硬質塩化ビニル管を使用すること。
	施工図等を提出し係員の承諾を得ること。		9. 「山梨県暴力団排除条例の施工に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は下請負者を用いる場合には、
	4. 本工事に於いて、契約後速やかコリンズ登録を行うこと。またCREDAS（最新版）を用いての再資源利用計画・実施書の		金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負者まで反映させた「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を
	提出を行うこと。		十分確認の上、遅滞なく監督員に提出するものとする。
	5. 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただし、その費用は請負者の負担とする。		また提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員に提出すること。
	6. 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。		尚、提出は打合せ簿によるものとする。
	7. 本工事請負者は工事完成引き渡し後でも施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。		
		保温塗装防食仕様	○ 給水管 土間埋設部 ワンタッチ保温筒10t（ワンタッチチューブ）
工 事 項 目	1. 給 水 設備工事		
	2. 排 水 設備工事		
	3. 汲取り排水槽 設備工事	提 出 書 類	別途指示するものとする。
優 先 順 位	1. 法令・政令・規則等の定め及び指導		
	2. 特記仕様書		
	3. 設計図書		
	4. 国土交通大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 最新版		
工 事 概 要	○ 給 水 設備工事		
	本工事は、既存給水管より取出した給水を簡易水洗用便器に接続する。		
	○ 排 水 設備工事		
	本工事は、簡易水洗用便器の排水を便槽に接続する。又、便槽の通気管の取り付けも行う。		
	大便器の排水管と通気管は排水槽の付属品。		
	○ 汲取り排水槽 設備工事		
	本工事は、汲取り排水槽を男子トイレ、女子トイレ、共用トイレの下にそれぞれ取り付ける。		
メーカーリスト	衛生器具類 T O T O L I X I L		
	簡易水洗便器 ロンシール		
	汲取り排水槽 ロンシール		
	換気扇類 三菱電機 パナソニック		

凡 例

記 号	名 称	仕 様	備 考
―― - ―――	給 水 管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HIVP(屋外埋設)
―― - ―――	給 水 管	硬質塩ビライニング鋼管	VD(屋内埋設)
―― - ―――	給 水 管	硬質塩ビライニング鋼管	VB(屋内一般)
―――	排 水 管	硬 質 塩 化 ビ ニ ー ル 管	VU
.....	通 気 管	硬 質 塩 化 ビ ニ ー ル 管	VU
――⊗――	不 凍 栓	MT型不凍栓	
――◇――	ゲ ー ト 弁	JIS10K	

衛 生 器 具 表								
器具名	参 考 品 番		合 計	1 階				屋 外
	ロ ン シ ー ル			男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	共 用 ト イ レ	前 室	
簡易水洗洋式便器	DX-570P		16	9	7			
非水洗腰掛大便器	C9M, NC801W1		3			3		
簡易水洗小便器	LU-170F		5	5				
	T O T O	L I X I L						
紙巻器	YH120N	KF-42M	19	9	7	3		
水栓	T130AUN13	LF-12F-13-U	3				3	
化粧鏡	YM4560A	KF-4560	3				3	

主 要 機 器 表									
記 号	名 称	仕 様		電 源			設置場所	台数	備 考
				相	電圧	容量 (KW)			
LT-1	汲み取り排水槽	仕 様	FRP製				男子トイレ	1	
		寸 法	1200φ × 5300L						
		容 量	5800 L						
		付属品	FRP製マンホール、排便管、臭突管、汲み取り管、電動トッパファン						
			自在ソケット、自在エルボ、固定バンド、他						
LT-2	汲み取り排水槽	仕 様	FRP製				女子トイレ	1	
		寸 法	1200φ × 4500L						
		容 量	4900 L						
		付属品	FRP製マンホール、排便管、臭突管、汲み取り管、電動トッパファン						
			自在ソケット、自在エルボ、固定バンド、他						
LT-1	特殊便槽	仕 様	FRP製				共用トイレ	1	
		寸 法	1200φ × 2900L						
		容 量	3000 L						
		付属品	FRP製マンホール、排便管、臭突管、汲み取り管、電動トッパファン						
			自在ソケット、自在エルボ、固定バンド、他						
EX-1	換気扇	形 式	格子タイプ	1	100	27.0 W	男子、女子トイレ	2	
		能 力	30 cm × 1050 m3/h						
		付属品	電気式シャッター						
		その他	ステンレス製ウエザークカバー 防鳥網 木枠						
EX-2	換気扇	形 式	格子タイプ	1	100	11.5 W	共用トイレ	3	
		能 力	20 cm × 468 m3/h						
		付属品	電気式シャッター						
		その他	ステンレス製ウエザークカバー 防鳥網 木枠						



WP : 木材保護塗装

承認 設計 担当

縮尺

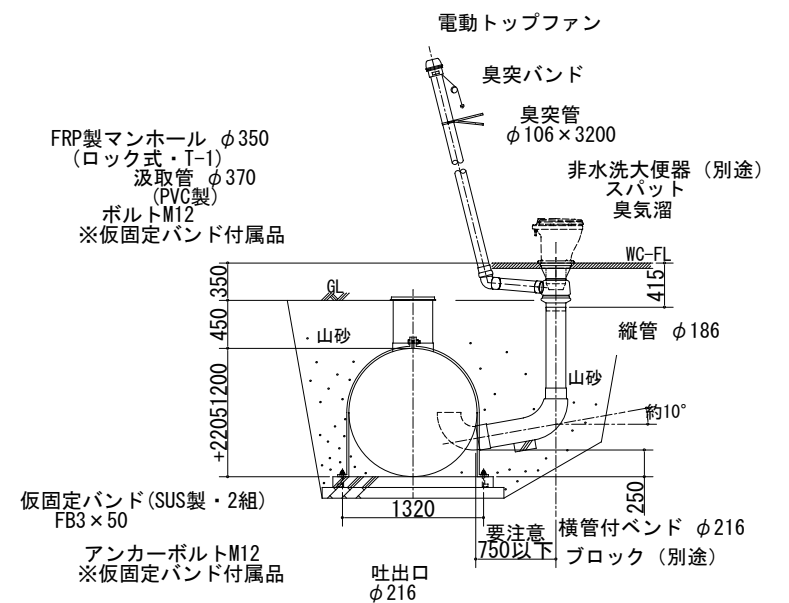
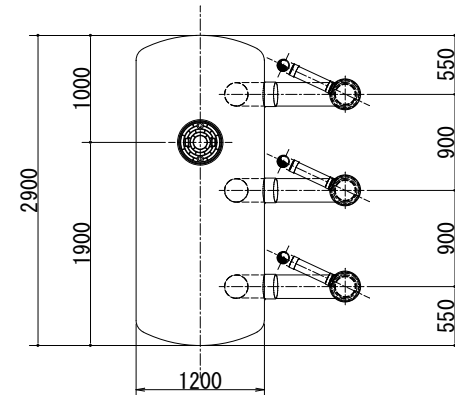
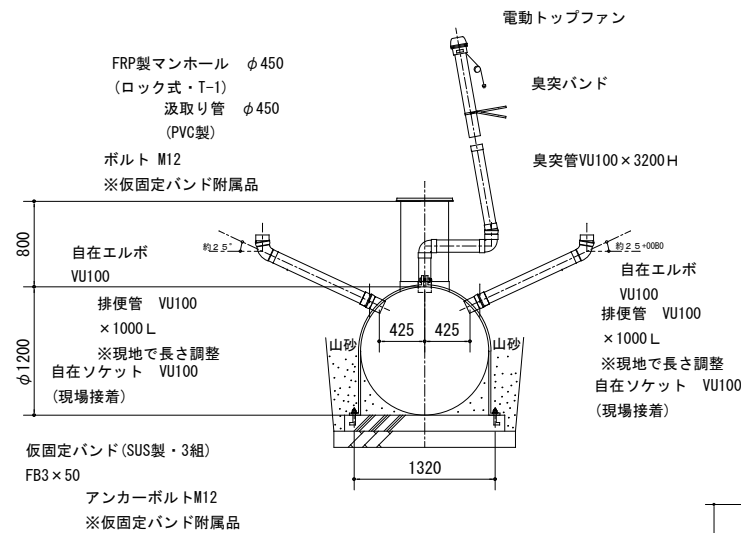
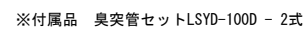
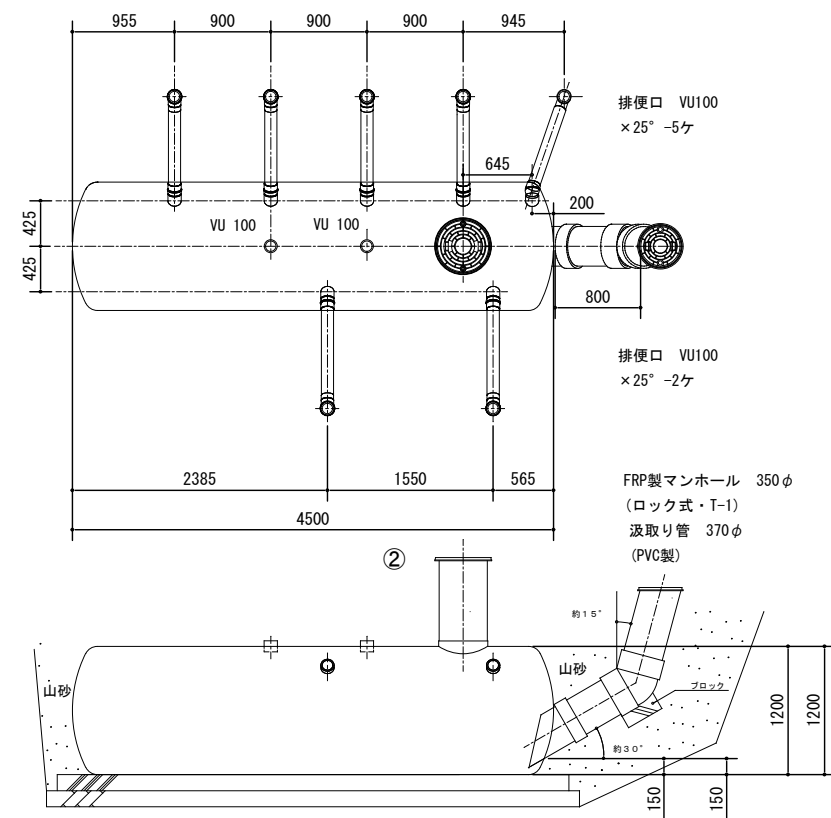
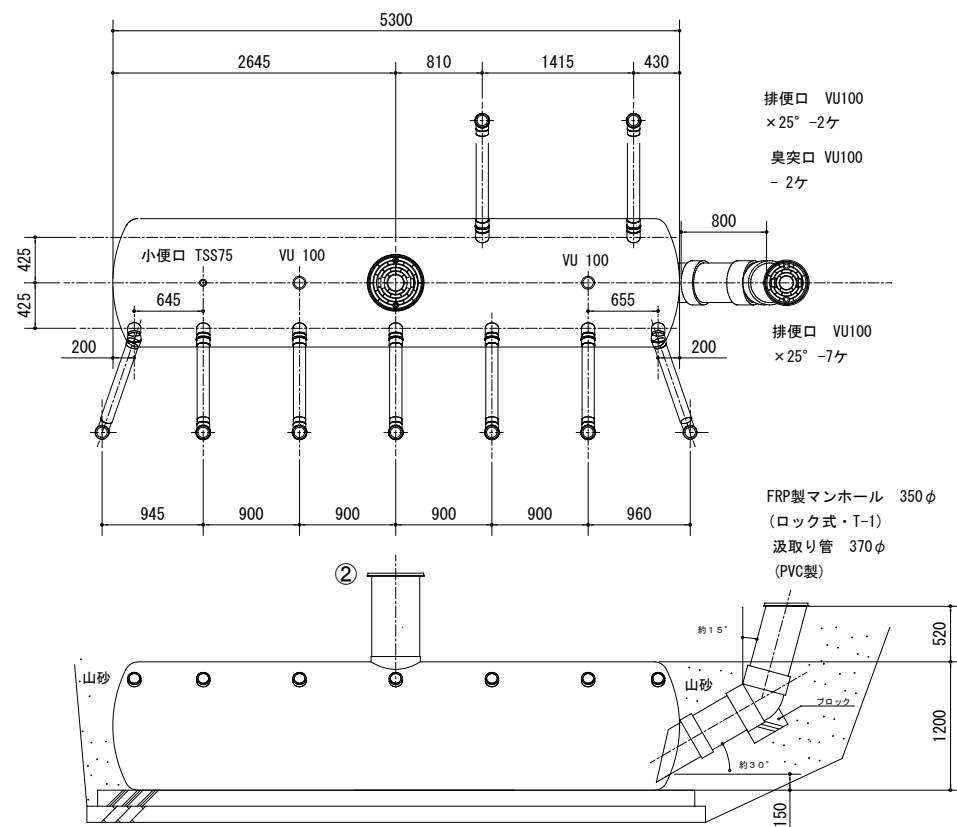
S=1:50

設計年月日

工事名称 長衛小屋トイレ改修工事

図面名称 便所詳細図

No. M- 04



注記

■ 商品について

- 仕様温度は35℃以下、流入水はP H 5.5～P H 8.5（中性領域）で使用ください。
- 薬品排液には使用しないでください。
- 本体はFRP製の為、寸法・形状に若干差があります。（誤差+00B12%～+00B13%）

■ 施工について

- 槽に付属されている施工要領書を施工前に必ずお読みください。
- 基礎工事は必ず実施してください、基礎は現場の地耐力に応じて決めてください。
- 上部荷重が直接槽にかかる場合、支柱工事を実施し槽に荷重をかけないでください。
- 槽本体を凍結深度より深くなるように埋設ください。
- 槽を深く埋設する場合、W補強型をご使用ください。

■埋設について

- 埋め戻し前に橋の破損が無い事を確認ください。
- 地下水がある場合、地下水の高さまでコンクリートを打設してください。
地下水による浮力で橋が破損する恐れがあります。
- 仮固定バンドは転がり防止用です、浮上防止には使用しないでください。
- 仮固定バンドの締め付けすぎには注意してください、橋が破損する恐れがあります。
- 埋設時、山砂が槽下部に入り込むように水締めしながら、埋め戻してください。
- この商品は補強型です、埋設の土圧に対しての補強処理を施しています。
土かぶり1000mm以内です。